

# ○調査結果の概要

## 1. 貿易企業の概要

### ・貿易実績のある企業 209 社

2018 年(暦年)における輸出企業は 163 社(前年 157 社)、輸入企業は 107 社(同 98 社)、これらのうちで輸出入ともに行っている企業は 61 社(同 57 社)で貿易企業は 209 社(同 198 社)となった。

所在地別では、松江市が 59 社と最も多く、続いて出雲市 53 社、浜田市 20 社の順となった。

## 2. 貿易実績

### ・島根県の 2018 年貿易額は 4,161 億円

県内企業の 2018 年(暦年)の貿易額(輸出入額)は 4,161 億円(前年 3,783 億円)であり、前年比 10.0%の増加となった。

輸出額 2,968 億円(前年 2,612 億円)に対し、輸入額は 1,193 億円(前年 1,171 億円)となっており、1,175 億円の輸出超過(前年は 1,442 億円の輸出超過)となった。

### (1) 輸出の実績

#### ・輸出額は 2,968 億円、輸出全体の 73.9%が機械、電気機器及び同製品並びに部分品

2018 年(暦年)の県内企業の輸出額は 2,968 億円(前年 2,612 億円)であり、対前年比で 13.6%の増加となった。

輸出品目別では、「機械、電気機器及び同製品並びに部分品」が 2,194 億円(構成比 73.9%)と最も多く、次いで「卑金属及び同製品」が 526 億円(同 17.7%)となっており、両品目で輸出全体の 91.6%を占めた。地域別では、アジアが 637 億円(構成比 21.5%)、ヨーロッパが 482 億円(同 16.2%)、北アメリカが 196 億円(同 6.6%)となっており、この三地域で全体の 44.3%を占めている。国別輸出額でみるとドイツが 330 億円(構成比 11.1%)、アメリカ合衆国が 171 億円(同 5.7%)、韓国が 166 億円(同 5.6%)、中国が 153 億円(同 5.1%)となっている。

輸出形態では、直接輸出が 551 億円(構成比 18.6%)、間接輸出が 2,417 億円(同 81.4%)となっており間接輸出の割合が高くなっている。

輸出の積出港をみると、最も多かったのは関西地域で全体の 30.4%、次いで関東地域が 9.2%と続いている。なお山陰地方の港の積出は、境港 3.2%、浜田港 0.6%となっている。

## (2) 輸入の実績

### ・輸入額は1,193億円、輸入全体の30.4%が鉱物性生産品

2018年(暦年)の県内企業の輸入額は1,193億円(前年1,171億円)であり、対前年比で1.9%の増加となった。

輸入を品目別にみると、「鉱物性生産品」が362億円(構成比30.4%)と最も多く、次いで「機械、電気機器及び同製品並びに部分品」が349億円(同29.2%)、「卑金属及び同製品」が221億円(同18.5%)となっている。地域別では、アジアが739億円(構成比62.0%)と最も多く、オセアニアが148億円(同12.4%)、北アメリカが116億円(同9.7%)と続いている。国別輸入額で見ると、中国が444億円(構成比37.3%)、オーストラリアが145億円(同12.2%)、インドネシアが136億円(同11.4%)、アメリカ合衆国が86億円(同7.2%)となっている。

輸入形態は、直接輸入が528億円(同44.3%)、間接輸入が665億円(同55.7%)となっており、間接輸入の割合が高かった。

輸入を荷揚港別にみると、最も多かったのは関西地域で全体の48.0%を占めた。なお、山陰地方の港の荷揚げは、三隅港23.5%、境港8.1%、浜田港5.5%となっている。

## 3. 海外直接投資及び外国企業との提携

### ・投資先、提携先ともに中国が最多

海外への投資案件は全体で24社31件となっており、投資先を国別にみると、中国11件、タイ8件となっており、構成比で見ると中国が35.5%、アジア全体で83.9%を占めている。

形態別では、独資13件、合併8件、駐在員事務所5件、支店3件、その他が2件となっている。

県内企業の外国企業との提携は全体で28社58件あり、提携先を国別にみると、中国が17件(構成比29.3%)と最も多く、次いで台湾が6件となっている。地域別にみると、アジアが50件で86.2%を占め、ヨーロッパが5件で8.6%、北アメリカが2件で3.4%となっている。

形態別では、販売代理店契約31件、委託加工貿易13件、技術供与8件、技術導入3件となっている。